

2021年5月14日

相模原市長 本村賢太郎殿

自立生活センターリングリング  
代表 中尾悦子  
兵庫県神戸市兵庫区中道通6丁目  
3-1 2小西ビル101

津久井やまゆり園からのパラリンピック採火についての公開質問状

私たちは、どんなに重い障害を持っていても、地域での暮らしを实践する、障害当事者の権利擁護団体です。

私たちは、24時間、介助者のサポートを得ながら自立生活し、障害者と健常者の真の共生を目指して活動しています。

私たちが考える共生社会とは、障害者と健常者が分け隔てられず、共に生きる社会です。具体的には、以下のことが実現されている社会です。

- ① 障害者が施設に隔離されることなく、地域の中で必要な介助を付けて自立生活をする
- ② 支援学校や支援学級に障害児を集めて教育するのではなく、健常児と共に普通校へ通える
- ③ 障害者は救済や保護の対象ではなく、権利の主体として存在する
- ④ 障害者は一方的に助けられるだけの存在ではなく、健常者と助け合うことができる

本村市長に質問させていただきます。

- (1) 私たち障害当事者が津久井やまゆり園からの採火に反対した抗議文をお読みになりましたか？  
また、読んでどのように感じましたか？
- (2) 障害者の隔離収容施設の存在についてどのように捉えておられますか？
- (3) 5月7日の記者会見で「やまゆり園は共生社会の原点のような場所。(園での採火計画は)間違っていないと私は思っている」とおっしゃいましたが、その真意を教えてください。  
市長の言う共生社会とはどのような社会ですか？

- (4) 「神奈川県障害者施策審議会 障害者支援施設における利用者目線の支援推進検討部会 令和3年3月 報告書」に記されている、津久井やまゆり園で事件後も続いてきた不適切な隔離・拘束などの虐待について、市長はどのように理解しておられますか？

なお、回答は6月14日(月)必着で書面にて、当団体住所に郵送願います。

また、本質問状、回答は報道機関へ、ウェブサイトやSNS等へ広く公開させていただきます。

あらかじめ、ご了承ください。

以上